

## 北日本脳神経外科連合会 第26回学術集会

日時 平成14年5月30日(木)～31日(金)  
会場 弘前大学創立50周年記念会館

### 1 Dandy-Walker variant に合併した normal pressure hydrocephalus の一例

八木橋彰憲・尾田 宣仁(石井脳神経外科・)  
高萩 周作・石井 正三(眼科病院)

Dandy-Walker complex は小脳と第4脳室を含む後脳の先天性奇形であり、小脳虫部の無・低形成と第4脳室の嚢胞状拡大を特徴とし、Dandy-Walker malformation と Dandy-Walker variant に大別される。一般に出生直後、ないし1年以内に発見されるが、今回の症例では老年期に発見された。69歳女性で歩行障害と失禁があったため当院受診し、MRI にて Dandy-Walker variant と hydrocephalus を認めた当院入院し、cisternography と髄液排泄試験を行い、normal pressure hydrocephalus と診断され、ventriculoperitoneal shunt 手術にて症状の軽快が認められた。出生より長期間無症候性であった Dandy-Walker variant に合併した normal pressure hydrocephalus の一例を報告する。

### 2 脳出血後亜急性期に脳室拡大を呈した3症例

布村 克幸・進藤 徳久  
村山 直昭・藤重 正人  
山村 明範・中川 俊男(新さっぽろ)  
端 和夫(脳神経外科病院)

脳室穿破を伴う脳出血で急性期水頭症を呈する例はよく経験されるが、亜急性期に水頭症症状を呈した脳出血例3例を経験したので個々について報告及び機序について推測検討する。

〔症例1〕わずかに脳室穿破を伴った右被殻の小出血例。第3病日に傾眠傾向に、わずかながら脳室拡大像を認めた。

〔症例2〕びまん性に脳室内血腫を伴った内側

型の左視床出血。第6病日に意識障害認め CT 上著明な脳室拡大を呈していた。2症例共に CT 上第3脳室後半部から中脳にかけてわずかながらも clot の残存を認めた。

〔症例3〕側脳室後角部への穿破を認めた後方進展型の左視床出血。第8病日に意識障害認めた。CT 上中脳水道部に clot は認めなかった。

3例とも直ちに脳室ドレナージ術施行。いずれも穿刺時の髄液圧は高値であった。髄液流出路を塞いでいた clot の消失にて先の2例では脳室拡大像は軽快したが最後の例では慢性期においても残存した。

### 3 特発性頭蓋内圧低下症の2例

山崎 法明・宇野 英一  
若松 弘一・高島 靖志(福井県済生会病院)  
土屋 良武(脳神経外科)

〔症例1〕35才、男性。頭部外傷の既往歴なし。特に誘因なく、頭部全体が締めつけるような頭痛があり、立位にて増悪、臥位にて軽快する。CT 上、硬膜下腔の拡大、MRI 上、硬膜の瀰漫性の造影効果を認め、特発性頭蓋内圧低下症と診断した。RI-cisternography では髄液の漏出部の確認はできなかった。保存的治療により症状消失し、1ヶ月後の MRI では硬膜の造影効果は消失した。

〔症例2〕52才、男性。頭蓋症の既往歴なし。症例1と同様に立位にて増悪、臥位にて軽快する頭痛あり。CT 上、両側慢性硬膜下血腫、MRI では、前記に加え、症例1と同様に硬膜の瀰漫性の造影効果を認めた。RI-cisternography では dry tap のため髄液の漏出部の確認はできなかった。保存的治療により症状は軽快するも、2ヶ月後の MRI では両側の硬膜下血腫は残存している。我々は、画像所見の経時的変化を観察し得た特発性頭蓋内圧低下症の2例を経験した。RI-cisternography では髄液の漏出部を確認できなかったが、MRI での硬膜の造影効果は診断に有効であり、若干の文献的考察を加えて報告する。